

B2D スキーム (B2D 特別選抜)

「B2D スキーム」の対象者は、学士課程 2 年次相当前学期に行われる「B2D 特別選抜」に合格し、学士課程を B2D 特別学修課程により学修を進め卒業した者となります。そのため、大学院課程から B2D スキームに所属することはできません。

学士 2 年次に選抜に合格した学生は（以下、B2D 学生と呼ぶ）2 年次相当後学期から、学生一人ひとりのキャリアを踏まえたテーラーメイド型のカリキュラム（学士課程では B2D 特別学修課程、大学院課程では原則、標準学修課程）により学修を進めます。将来を見据えた学修計画により、既存の枠を超えた、社会を牽引できる傑出したオンリーワンの博士人材の輩出を目指しています。

参加しているコースは以下のとおりです。コース B2D 担当教員等、詳細は B2D スキーム HP をご確認ください。

学院	系	コース
理学院	物理学系	物理学コース
	化学系	化学コース
		エネルギーコース
工学院	システム制御系	システム制御コース
	電気電子系	電気電子コース
		エネルギーコース
		ライフエンジニアリングコース
		原子核工学コース
	情報通信系	情報通信コース
		ライフエンジニアリングコース
物質理工学院	材料系	材料コース
		エネルギーコース
		ライフエンジニアリングコース
		原子核工学コース
	応用化学系	応用化学コース
		エネルギーコース
		ライフエンジニアリングコース
		原子核工学コース
		地球生命コース
生命理工学院	生命理工学系	生命理工学コース
		ライフエンジニアリングコース
		地球生命コース

環境・社会理工学院	建築学系	建築学コース
	融合理工学系	地球環境共創コース
		エネルギーコース
		原子核工学コース

1. 大学院課程における B2D 学生の修了要件

修士課程、博士後期課程における B2D 学生の学修課程および修了要件は、コース標準学修課程と同じです。ただし、各課程の修了要件の一つである修士論文または博士論文の審査において、B2D 学生については以下の観点追加されます。

〔修士課程〕

2 週間以上の留学等(語学留学も可)を行ったこと。ただし、学士課程において既に本要件を満たしている場合は、本要件は免除するものとする。

〔博士後期課程〕

- 1) B2D フォーラムにおいて発表を行ったこと。
- 2) 3 ヶ月以上の研究留学を行ったこと。

2. 留学等の経費支援

修士課程において 2 週間以上の留学等(語学留学も可)を実施する際に、学生 1 人につき 1 回に限り、留学等にかかる経費支援を行います(学士課程で既にこの支援を受けている者は除く)。詳細は、B2D 担当教員または B2D スキーム HP の「お問合せ先」までお問い合わせください。なお、博士後期課程での研究留学に対する支援は行っておりません。

3. 学位記および「B2D スキーム」の修了証書

修士課程、博士後期課程それぞれの課程において、「東京工業大学学位規程」で定められた様式の学位記(所属する学院名、系名、コース名を含めて記載)が授与されます。

さらに、B2D スキームにおいて学修し、本学の博士の学位を授与された方には、既存の枠を超えた、社会を牽引できる傑出したオンリーワンの博士人材であることを証して、「B2D スキーム修了証書」が授与されます。

参考: B2D スキーム ホームページ

東京工業大学 (在学生の方>在学生向け教育プログラム >B2D スキーム (B2D 特別選抜))

https://www.titech.ac.jp/enrolled/certificate_current/b2d.html